

日本史B授業プリント(70期) 近世24 江戸後期の文化(2)

3年[]組[]番[]

洋学の発達 ☆名称…1蚕学(“南蛮”から)→2蘭学(オランダ中心)→3洋学(幕末:英仏も加わる)

☆4ケンペル・5ツンベルグ・シーボルト(後述)ら来日→帰国後、日本を紹介

……1775. 来日 スウェーデンの医師・植物学者 『日本植物誌』

……1690. 来日 ドイツ人医師 『日本誌』(付録に「6鎖国論」)…志筑忠雄が翻訳

[I] 『解体新書』(1774)以前…蘭学以前前

7西川如見 『8華夷通商考』(1695)…中国や西洋の風土・産物・交通など

……長崎通詞・天文学者 他に教訓書『百姓ぶくろ囊』『町人囊』のち吉宗に招かれる

9新井白石(侍講)…1708. 屋久島潜入したイタリア人 10シドッチ(イエズス会宣教師)を尋問

→『11西洋紀聞』(西洋研究 極秘)・『12菜覧異言』(世界地理 将軍に献上)

吉宗…漢訳洋書の輸入制限緩和(1720)→13青木昆陽(儒学)・14野呂元丈(本草学)にオランダ語を学ばせる

[II] 『解体新書』(1774)以降…蘭学の誕生と発展

☆17平賀源内(1728-1780)…18本草学者(『ひんしつ物類品隲』)他にも様々な分野で活躍

〈例〉19エレキテル・寒暖計・石綿(火洗布)^{かかんぶ}・洋画・鋳山開発(秋田藩など)・滑稽本・浄瑠璃脚本 等々

(A) 医学・語学

『20解体新書』1774. …『21ターヘル・アナトミア』の翻訳 西洋医学の紹介

22杉田玄白・23前野良沢・24中川淳庵・25桂川甫周ら

……苦心談→『26蘭学事始』1815 ツンベルグと交流

27大槻玄沢…医師 玄白・良沢の弟子 私塾 28芝蘭堂 [江戸]1786

『29蘭学階梯』1788…蘭学史とオランダ語入門 30オランダ正月(太陽暦での新年会)

31稲村三伯…医師 玄沢の弟子 『32ハルマ和解』1796. 初の蘭日辞典 「江戸ハルマ」

※「33長崎ハルマ(ズーフハルマ)」…1816. オランダ商館長ズーフが編纂

34宇田川玄随…甫周の弟子 『35西説内科撰要』(1792. 翻訳)

36華岡青洲…全身麻酔による世界初の乳ガン手術に成功(1805)

(B) 天文学・暦学・測量

37本木良永(通詞)…『38和蘭地球図説』『39天地二球用法』1774. コペルニクスの地動説を紹介

→弟子 40志筑忠雄(通詞)…『41曆象新書』(1802 訳)ケプラーの法則やニュートン力学を紹介

42麻田剛立…大坂の医師 日食予測 従来の暦の誤りを指摘 太陽の黒点や月面の観測など

→弟子の 43高橋至時(幕府天文方)・44間重富らが幕命で 45寛政暦を作成(1797)

→46伊能忠敬…下総 至時の弟子 地理学者 幕命で全国測量(1800~17)

『47大日本沿海輿地全図』(没後の1821年に完成 軍事的理由で秘蔵)

[Ⅲ] 蛮書和解御用(1811)以降…幕府と蘭学との関係

1811. 幕府、^{ぼんじょわけごよう}48 蛮書和解御用 設置(1811)…翻訳局 ※^{かげやす}53 高橋景保 (至時の子：天文方) 建議
 <例>百科事典『52 厚生新編』 →⁴⁹洋学所 →⁵⁰蕃書調所 →…⁵¹開成所
1823. ²⁵シーボルト 来日(1823)…ドイツ人医師 帰国後『26 日本』を著作
 ²⁷鳴滝塾 [長崎]創設(1824) →高野長英、小関三英、伊東玄朴ら
1828. ²⁸シーボルト事件…帰国時に日本地図など所持→国外追放、高橋景保獄死、弟子 50 人処罰
1837. ^{う だ がわようあん}29 宇田川榕庵『^{せいみ}30 舎密開宗』翻訳 化学書 ※^{せいみ}舎密は化学(ケミストリ)の訳語
1838. ³²適塾 (³³適々斎塾)…³¹緒方洪庵 [大坂]の私塾 →橋本左内、大村益次郎、福沢諭吉ら
1839. ³²蛮社の獄 …³³鳥居忠耀 (^{ただあき}町奉行)ら幕府保守派による蘭学者の弾圧
 <例>³⁴渡辺崋山 (田原藩家老・洋画家) ・³⁵高野長英 (陸奥出身・町医者)
 …³⁶尚歯会 (蘭学者グループ)への蔑称 他に、江川英竜・川路聖謨・小関三英ら
1842. ³⁷高島秋帆 の投獄・幽閉 ※鳥居ら幕府保守派による弾圧
 …³⁸西洋砲術の研究 徳丸ヶ原で練兵(公開演習)1841. →⁴⁰江川英竜らへ
1846. ⁴¹伊東玄朴…⁴²牛痘の接種に成功(天然痘の予防) →⁴³種痘所設置(1853. 民営)
 →1860. 幕府に移管→⁴⁴医学所(1861)